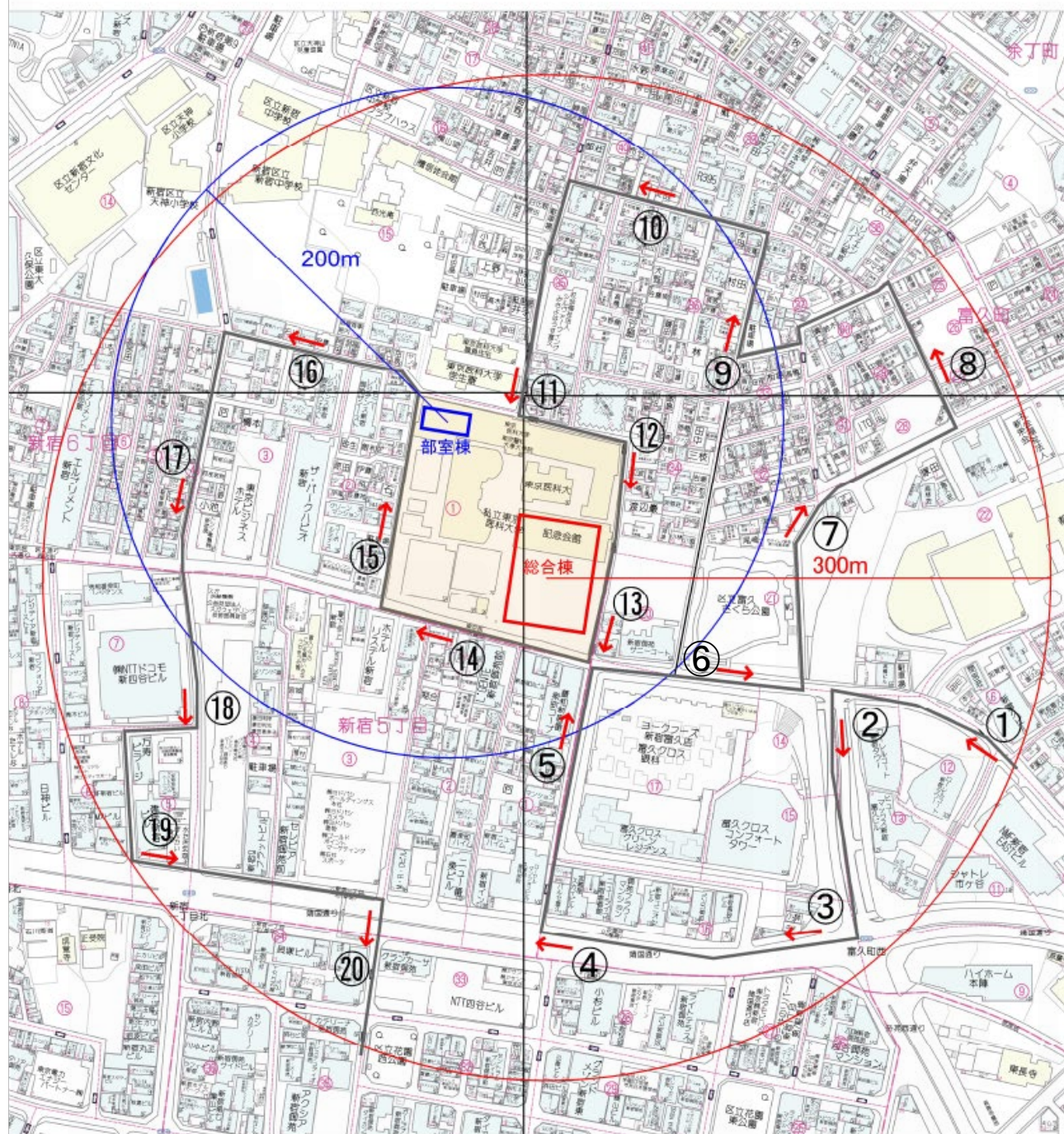


第 8 5 回 新宿区景観まちづくり審議会
【報告 3】 (仮称) 東京医科大学新宿キャンパス総合棟新築工事
学校法人 東京医科大学

ルート地図 住所：東京都新宿区新宿6丁目1番1号



凡例

- 調査範囲
- 歩行ルート
- ⑥ → 写真NO.及び撮影方向

①東京医大通り



高層マンションがちらほら建っているが、道は開けている。

②富久クロスコンフォートタワー周辺



緑も豊かで家族連れがたくさん歩いていた。

③靖国通り



対岸にはマンションやオフィスビルが見える。靖国通りは道路幅が広いが、調査時は車の通りは多くなかった。

④靖国通り



交差点周辺には店舗も少ない。街路樹が植えられている。

⑤ヨークフーズ・富久クロス沿い



細い道で買い物帰りの人や車が多くみられる。緑も植わっている。

⑥区立富久さくら公園



緑地豊かで、子供も多い。

⑦住宅街



細い道沿いにみっちり住宅がある。緑は多くない。

⑧住宅街



⑦と同じく、信号のない細い道が続く。

⑨住宅街



閑静な住宅街が続いている。車両進入禁止の区間がある。

⑩住宅街



この先には区立新宿中学校や区立天神小学校、新宿文化センターなどがあり、スクールゾーンとなっている道もある。

⑪東京医科大学中央校舎



人通りが少なく、閑静な住宅街の中に中央校舎が現れる。敷地の通り抜けはできない。

⑫東京医科大学 東側



また住宅街が現れる。大学敷地周辺は細い道に囲まれている。

⑬東京医科大学 南東側



コンビニやスーパーマーケットなど、家族連れや大学生が利用する店が見えてくる。人通りも多い。

⑭東京医科大学 南側



大学の南東角には居酒屋やカフェがあるが、そこから先に行った南側はマンションやビルが多い。

⑮東京医科大学 南西側



大学に植えてある高木が見える。学生が利用しそうなレストランやコンビニのほか、ホテルや温泉旅館、塾やこども園など観光客やこどものための施設が複数みられる。

⑯住宅街



閑静な住宅街。遠くに歌舞伎町タワーが見える。

⑰住宅街



⑯に続いて、静かな住宅街が続く。

⑱東京電力周辺



ドコモや東京電力パワーグリッド、ヨドバシデーターサービスなどの大きなビルが現れる。

⑲靖国通り



通りの対岸には大きいオフィスビルが多い。

⑳靖国通り



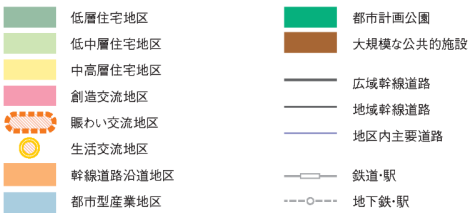
新宿御苑駅方面には、ところどころ公園や飲食店など、滞留が可能な場所が多い。

新宿区都市マスタープラン

➤都市計画に関する基本的な方針：創造交流地区

新宿駅周辺は、日本の国際競争力の強化・活力創出を牽引し、東京の発展を先導していく拠点の形成をめざし、商業・娯楽・業務・滞在・宿泊機能と、充実した居住・公園機能が近接して集積する、多様性をもつまちの賑わいの創出を図ります。

さらに、みどり豊かなアメニティの中心として、回遊性の高い観光・交流拠点として、魅力の向上を図ります。



出典：新宿区まちづくり長期計画 都市マスタープラン

新宿区景観まちづくり計画

➤要素別景観形成の方針

形態意匠：景観の中で建築物が果たす役割に配慮する
設備等修景：設備等は建築物の一部として計画・設計する
みどり：地形の特徴を活かしたみどりの創出

➤夜間景観形成の方針

地域の個性を生かした夜間景観をつくる

➤公共空間の景観形成の方針

誰もが使いやすい公共空間をつくる

➤区分地区の景観形成基準：一般地区

■建築物の建築等	
景観形成基準	形態意匠
	・外壁の色彩や素材は、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。 ・形態意匠は、建築物単体のバランスだけでなく、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。 ・色彩は別表3の色彩基準に適合するとともに、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。
その他	・敷地内に歴史的な建造物や残すべき自然などがある場合は、積極的にこれらを活かす。 ・隣接する建築物の壁面等の位置を考慮した配置とする。 ・附帯する設備等は、建築物と一体的に計画するか、歩行者や水平方向からの見え方に配慮し、緑化や目隠しなどによる修景を行う。 ・附帯する構造物や施設等は、建築物との調和を図るとともに、歩行者からの見え方に配慮した修景をする。 ・外構は、敷地内のデザインだけでなく、隣接する敷地や道路など、周辺景観との調和を図る。 ・敷地内はできる限り緑化を行う。 ・周辺との調和に配慮しつつ、夜間景観の魅力向上に寄与する効果的な照明とする。 ・ビル名や店名等の自家用広告物、第三者広告物等の屋外広告物の掲出については、建築物の設計の早い段階から、周辺景観や建築物へ配慮する。 ・隣接する敷地や公共施設と一体となったオープンスペースを新たに創出するなど、周辺景観に配慮した配置とする。 ・壁面の位置の連続性や、適切な隣棟間隔の確保など、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。 ・周辺の主要な眺望点（道路、河川、公園など）からの見え方に配慮するとともに、周辺の建築物のスカイラインとの調和を図る。 ・緑化にあたっては、生態系にも配慮した樹種の選定を行うとともに、積極的に屋上や壁面の緑化を行う。

■建築物高さ＞60m又は延べ面積＞30000㎡の場合

出典：新宿区景観まちづくり計画

景観形成ガイドライン：西向天神社エリア

寺社の雰囲気と調和した落ち着きと商店街の賑わいのまちなみへ

➤景観形成の方針

・寺社の雰囲気と調和した台地上の落ち着いた住宅街の景観をつくる

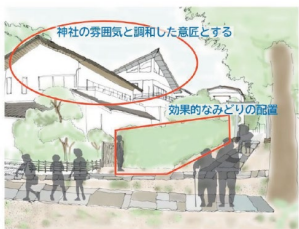
景観資源である西向天神社や法善寺などの雰囲気と調和した落ち着きある住宅地の景観を作る。

・斜面上からと斜面下からの眺めに配慮する

西向天神社などの台地上からの眺めや、医大通り商店街等の坂道からの眺めに配慮した景観形成を図る

・商店街の賑わいあふれる景観をつくる

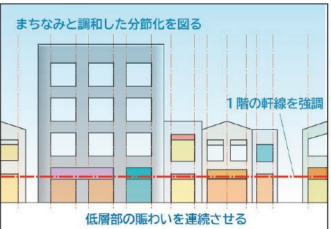
医大通り商店会やまねき通り商店会は、周辺居住者の日常生活を支える商店街として、歩く人に快適な賑わい空間を作る。



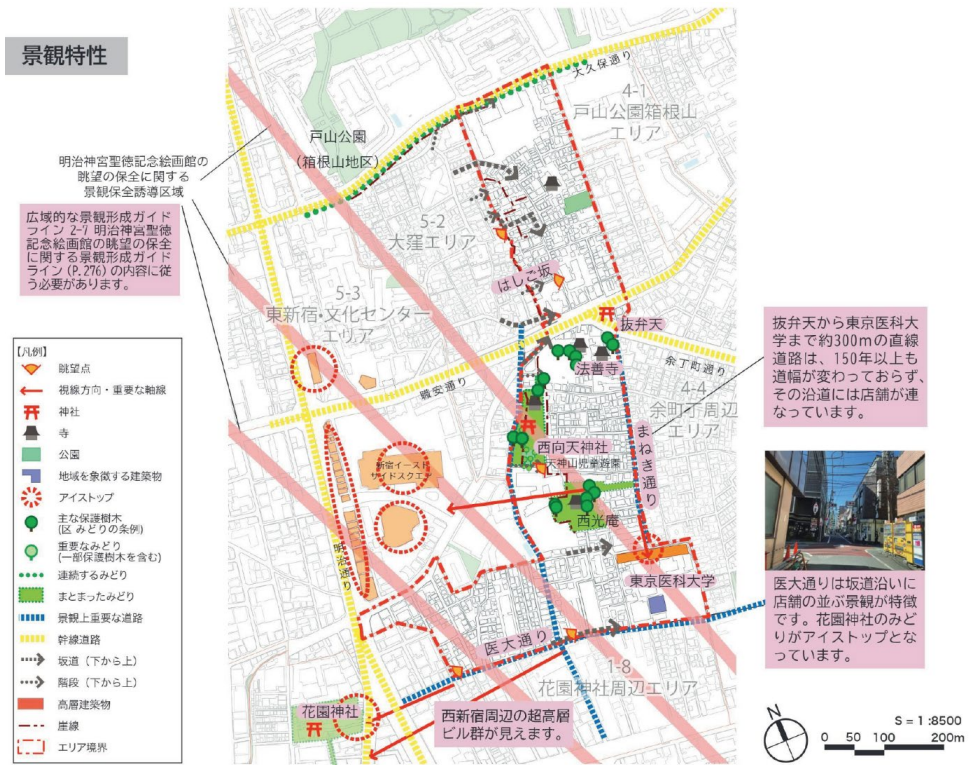
西向天神社と調和した住宅地の景観



見上げ・見下げの眺めに配慮する



統一感と賑わいのある商店街の景観



1. おもむきある西向天神社



2. 台地上からの眺め



3. 日常生活を支える商店街



出典：景観形成ガイドラインp.150-151

■ 東京医科大学 校舎建設計画の概要

■ 今回の新築計画は、教育内容の変化や充実により、学生や先生方一人当たりのスペースは拡大していますが、もともとあった機能から増えたところはなく、現状の機能を新しく建て替える計画です。

■ 記念会館を解体し、現状のグラウンドと合わせて、まとまった建設地を確保し、総合棟を1期に建設します。

その後、既存校舎から総合棟や既存の基礎新館、第一看護学校に引越し、既存校舎を解体後、部室棟を建設します。建物完成後、植栽や道路をセットバックし、歩道状に整備を行います。

■ 南側道路からセットバックした建物配置とし、隣接する建物と壁面ラインを揃え、医大通り側からの広がりを楽しめます。

■ 南側に高層棟をなるべく寄せて配置し、なるべく日影の影響を抑える事を考えました。また、既存校舎が日影規制が出来る以前の建物であり、日影が不適格の状態だったので、今回の計画で既存不適格という状況が改善されます。

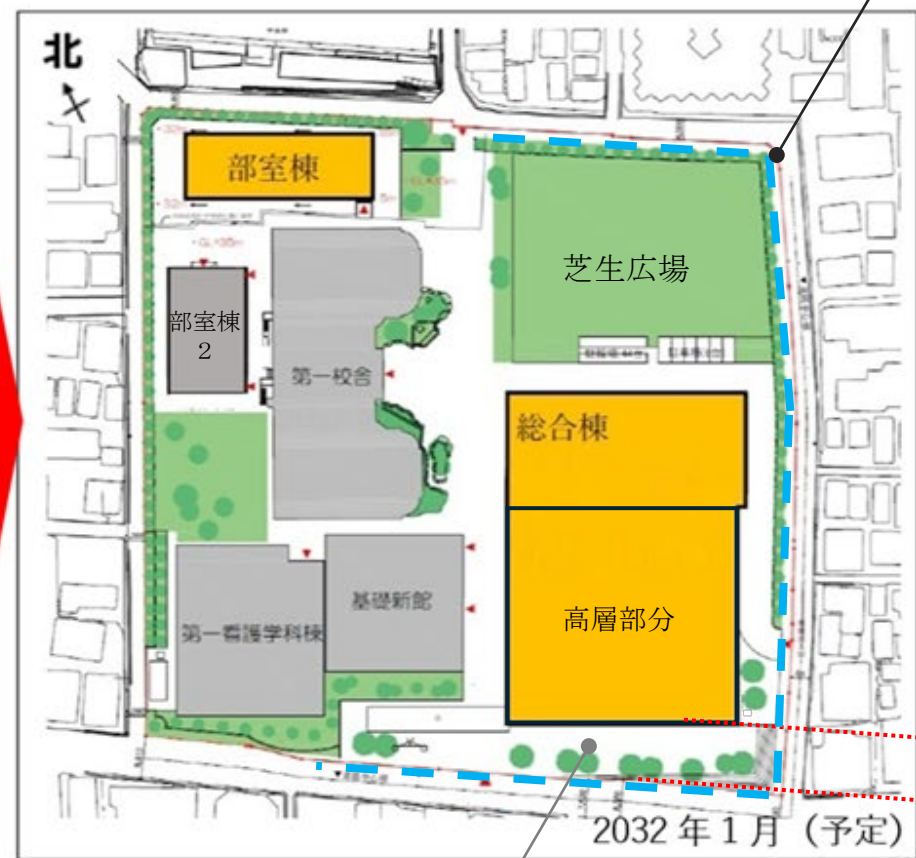
■ 歴史と伝統のシンボルである「第一校舎」を改修し、歴史資料館を計画しています。これまで、歴史と伝統のある第一校舎はキャンパス内の中央に位置し、既存建物に囲まれて、その姿が周辺から見える事はありませんでしたが、今回、敷地の北側に空地を確保する事で、周辺地域からも第一校舎を見ることができるようになります。

■ 南側道路と北側道路の一部、東側道路をセットバックし、歩行空間を確保します。

【既存配置図】

【完成後配置図（予定）】

セットバック⇒歩道状に整備



上記凡例	解体	残置	新築
------	----	----	----

新設建物をセットバック
→隣接建物と壁面ラインをそろえる
→日影の影響を抑える

第一校舎外観と1933（昭和8）年頃の校舎



1916（大正5）年9月に東京医学講習所が設立され、続いて1918（大正7）年4月に東京医学専門学校が設立認可された。1920（大正9）年4月に無試験認定校に指定されるなど、1920年までに東京医学専門学校の教育施設や制度が次第に整備されていったこれ以降も、東京医学専門学校は、教育研究施設の拡充を進めていく。1920（大正9）年には木造2階建ての校舎が落成、1924（大正13）年8月には博済病院本館が完成し、東大久保（現・新宿キャンパス）に研究及び臨床施設が整備されたのである。ところが、1928（昭和3）年3月、附属博済病院からの出火により病院と教室が失われた。火災からの復興を象徴する建物が基礎医学学校舎（現・第一校舎）であり、1929（昭和4）年10月に落成し、翌年には創立10周年記念式典が開催された。
（ホームページより抜粋）

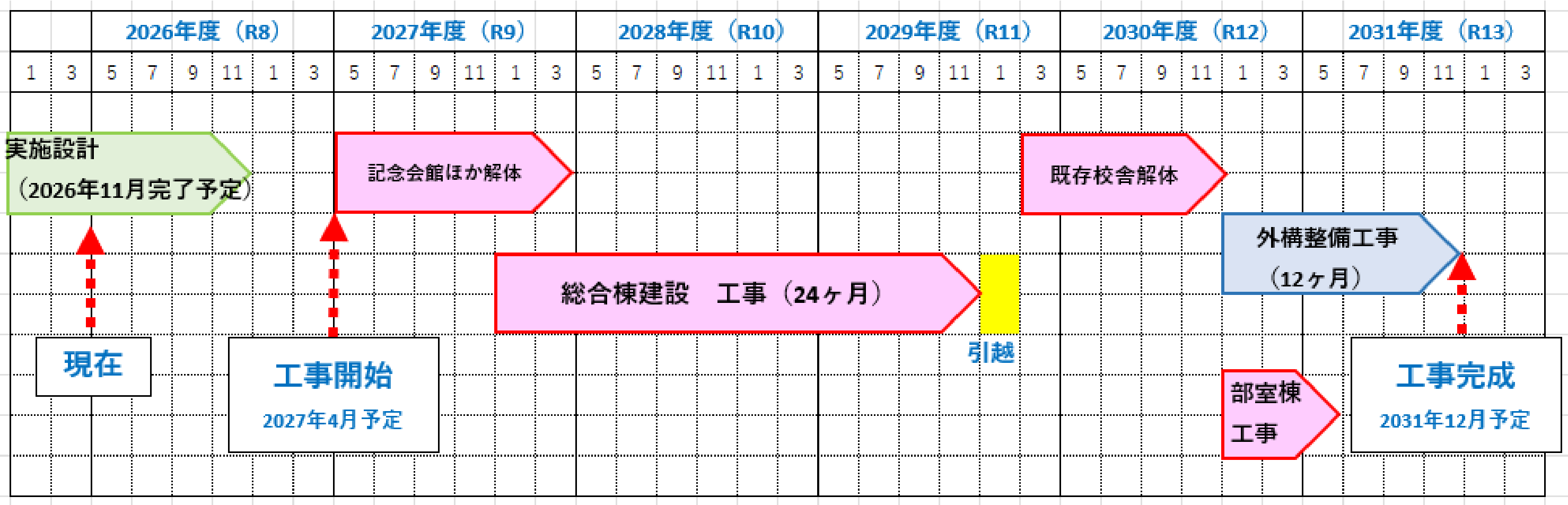
(1) 総合棟新築計画

用途：教室、研究室、図書館、体育館、事務室など
延床面積：約20,013㎡
建築面積：約2,974㎡（ゲート庇・駐輪場屋根・備蓄倉庫含む）
高さ：50.85m（絶対高さ制限の認定）
階数：地上10階（地下無し）
構造：鉄骨造

(2) 部室棟新築計画

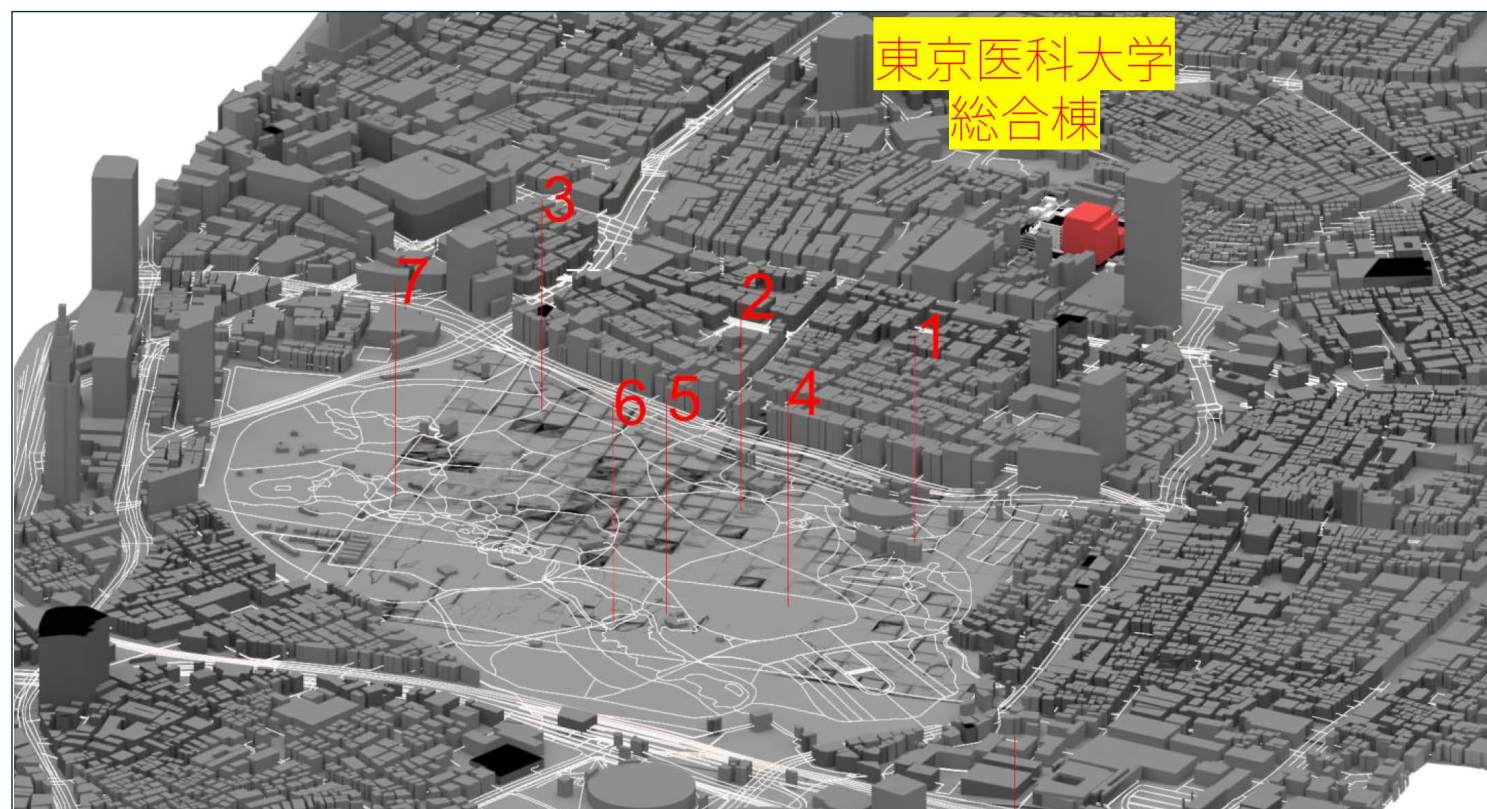
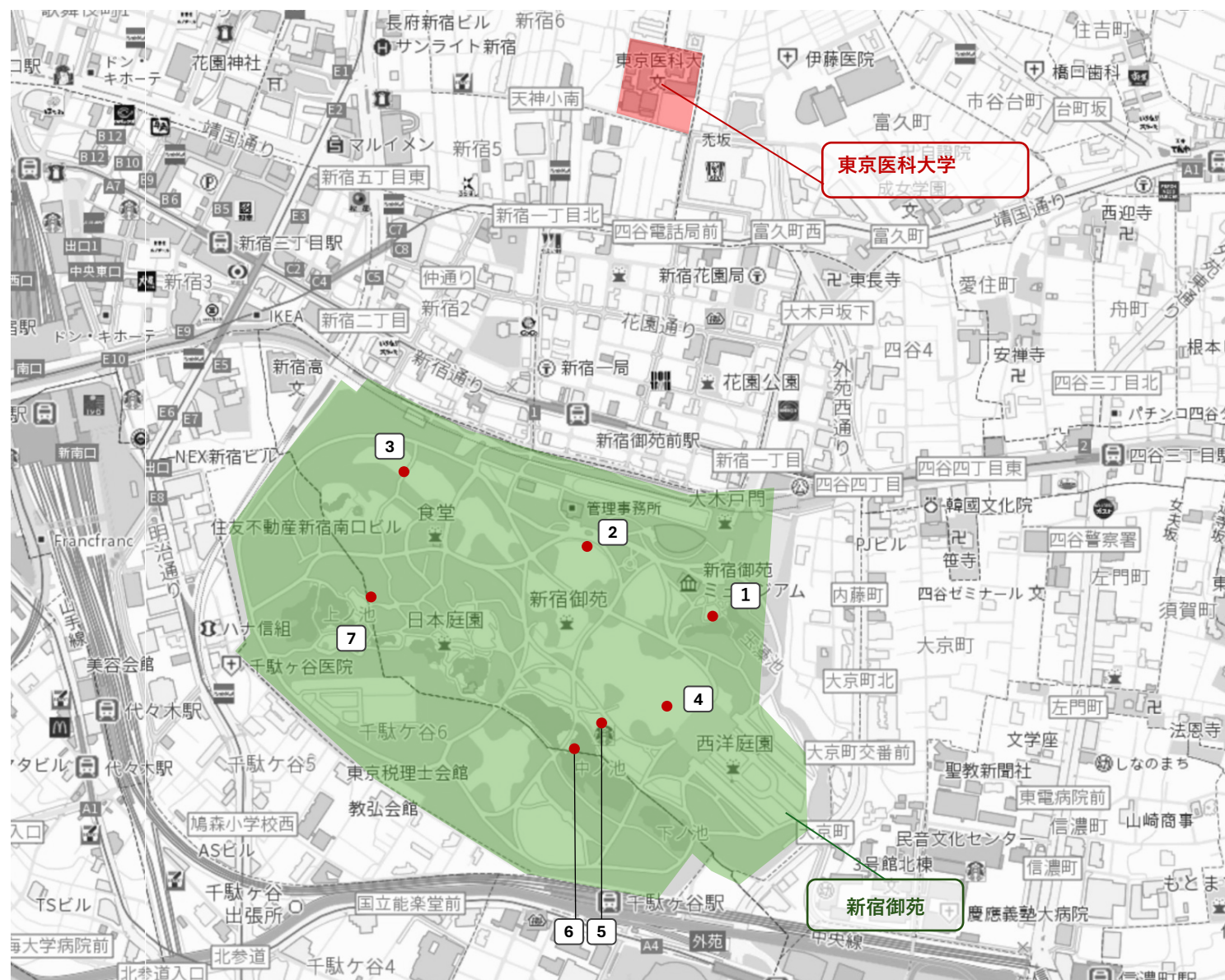
用途：部室
延床面積：約1,022㎡
建築面積：約541㎡
高さ：6.30m
階数：地上1階、地下1階
構造：地下鉄筋コンクリート造、鉄骨造

工事開始：2027年4月予定
工事完了：2031年12月予定



※数字は確認申請審査により、変更の可能性があります

新宿御苑の眺望の保全に関する景観形成ガイドラインに基づき、7つの眺望点からの東京医科大学総合棟の見え方を3Dモデルを用いて検討した。



地点1



地点2



地点3



地点4



地点5



地点6



地点7

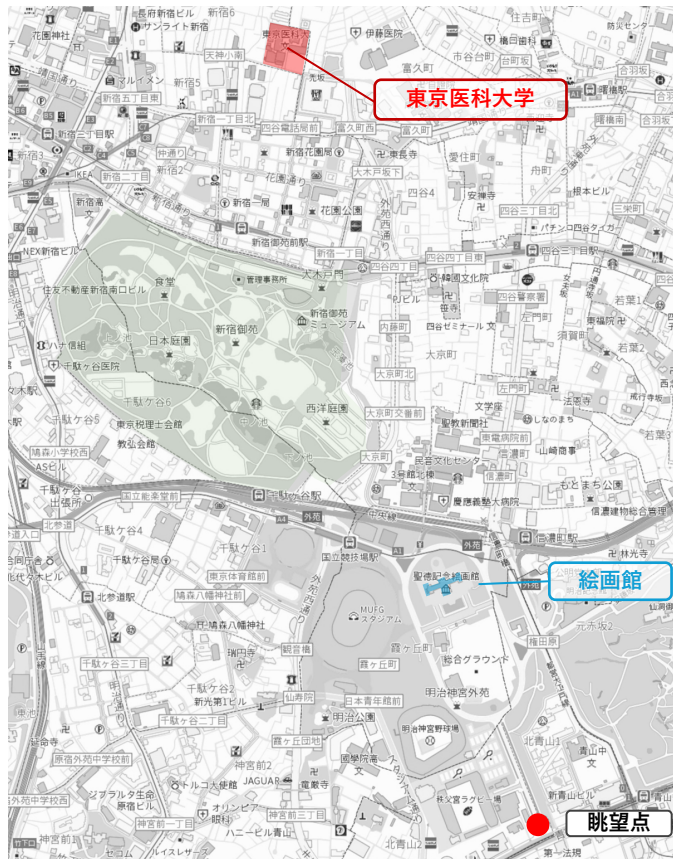


(赤線：建物概形)

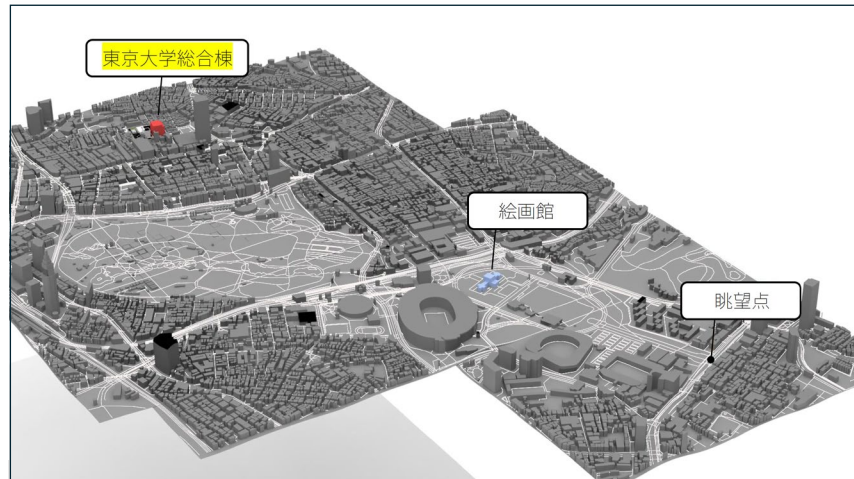
検討の結果、
視点場1-7の内いずれの場所からも
東京医科大学総合棟（赤色）は手前のビル群、
もしくは樹木に隠れ見えないことが明らかとなった。

■ 絵画館 景観検討

明治神宮聖徳記念絵画館の眺望の保全に関する景観形成ガイドラインに基づき、眺望点(35° 40'18.0"N139° 43'15.0"E)からの東京医科大学総合棟の見え方を3Dモデルを用いて検討した。



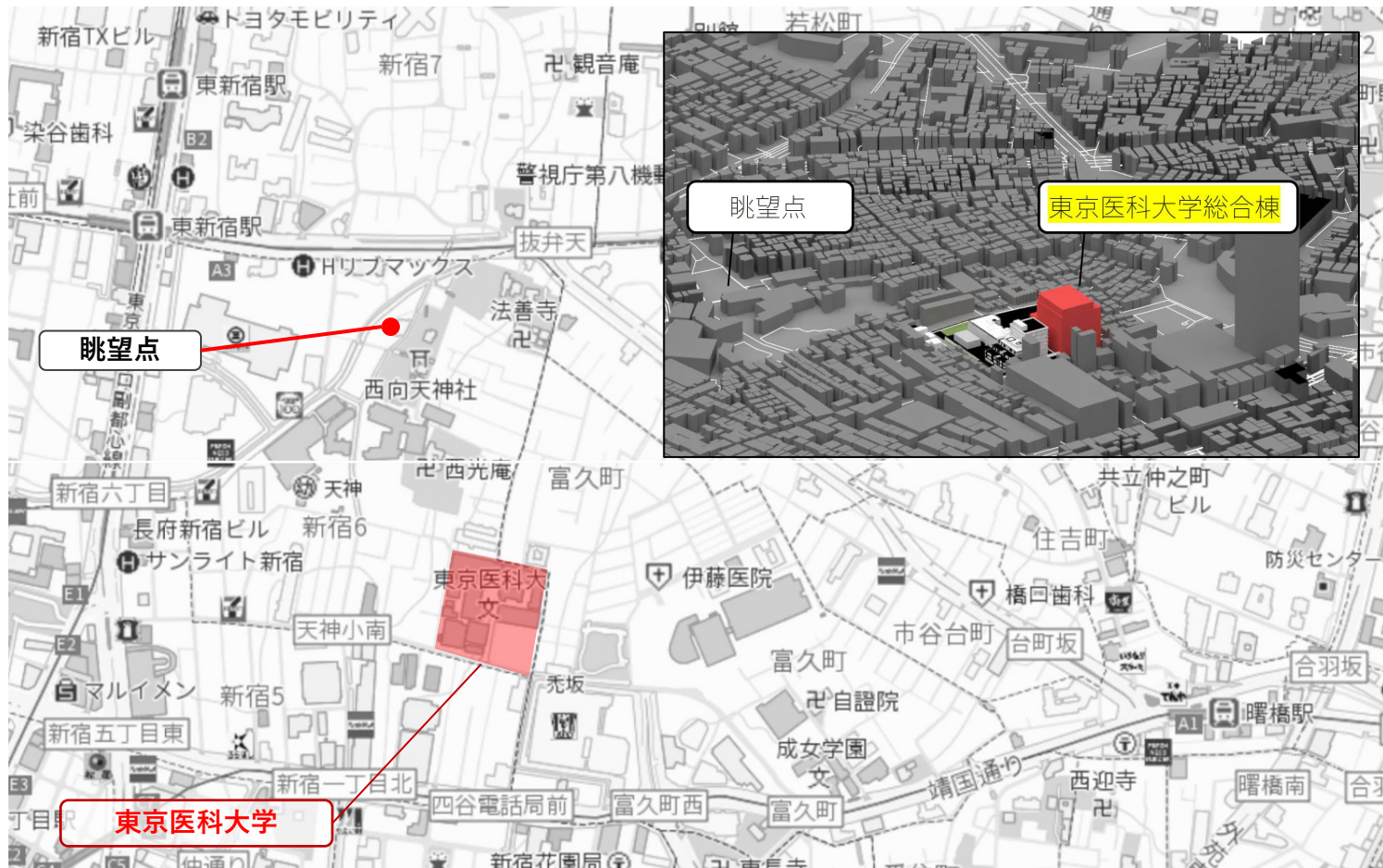
- ・計画地
「明治神宮聖徳記念絵画館眺望の保全に関する景観誘導区域B地区」
- ・建築物の高さ
B地区の基準以下



検討の結果：
今計画の建築物（赤印）の各部分の高さはB地域の基準以下であり、シュミレーションを行っても視認できない。

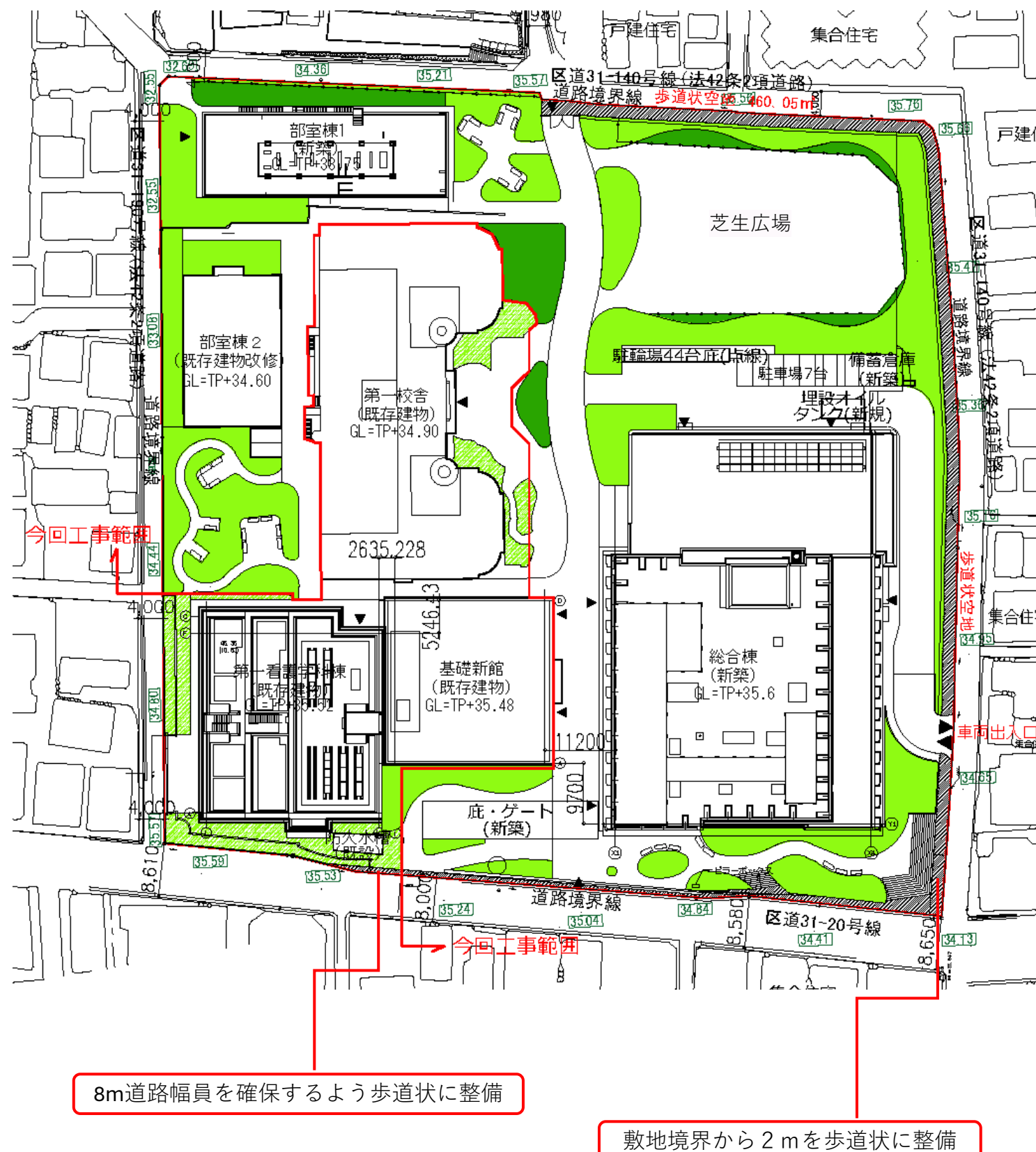
■ 西向天神社 景観検討

西向天神社エリアの景観形成ガイドラインに基づき、西向天神社境内からの東京医科大学総合棟の見え方を3Dモデルを用いて検討した。



検討の結果、境内から東京医科大学総合棟（赤色）は手前の建物に隠れ見えないことが明らかとなった。

配置図

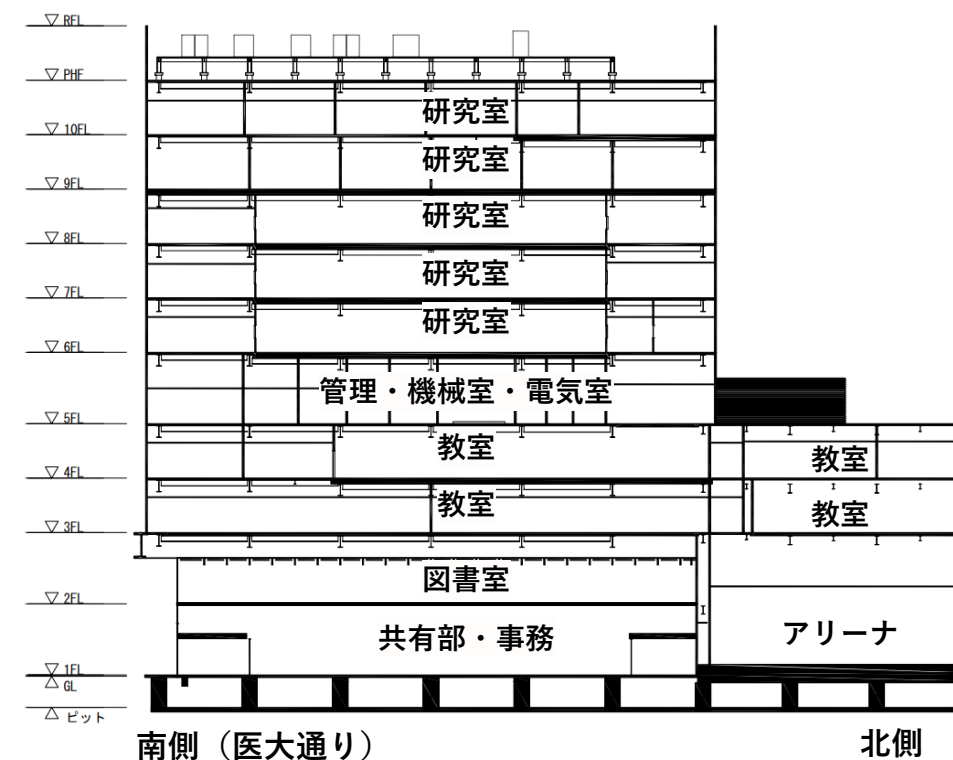


断面構成図

(1) 総合棟新築計画

用途：教室、研究室、図書館、体育館、事務室など
延床面積：約20,013㎡
建築面積：約2,974㎡
(庇ゲート・駐輪場屋根・備蓄倉庫含む)

高さ：50.85m
階数：地上10階（地下無し）
構造：鉄骨造

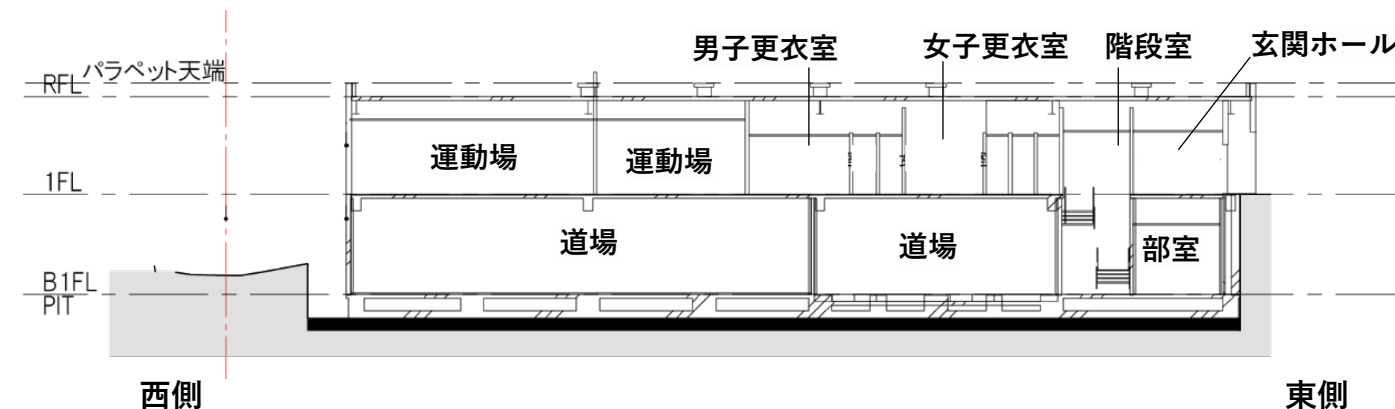


断面イメージ ノンスケール

(2) 部室棟新築計画

用途：部室
延床面積：約1,022㎡
建築面積：約541㎡

高さ：6.30m
階数：地上1階、地下1階
構造：地下鉄筋コンクリート造、鉄骨造



断面イメージ ノンスケール

■ 立面図

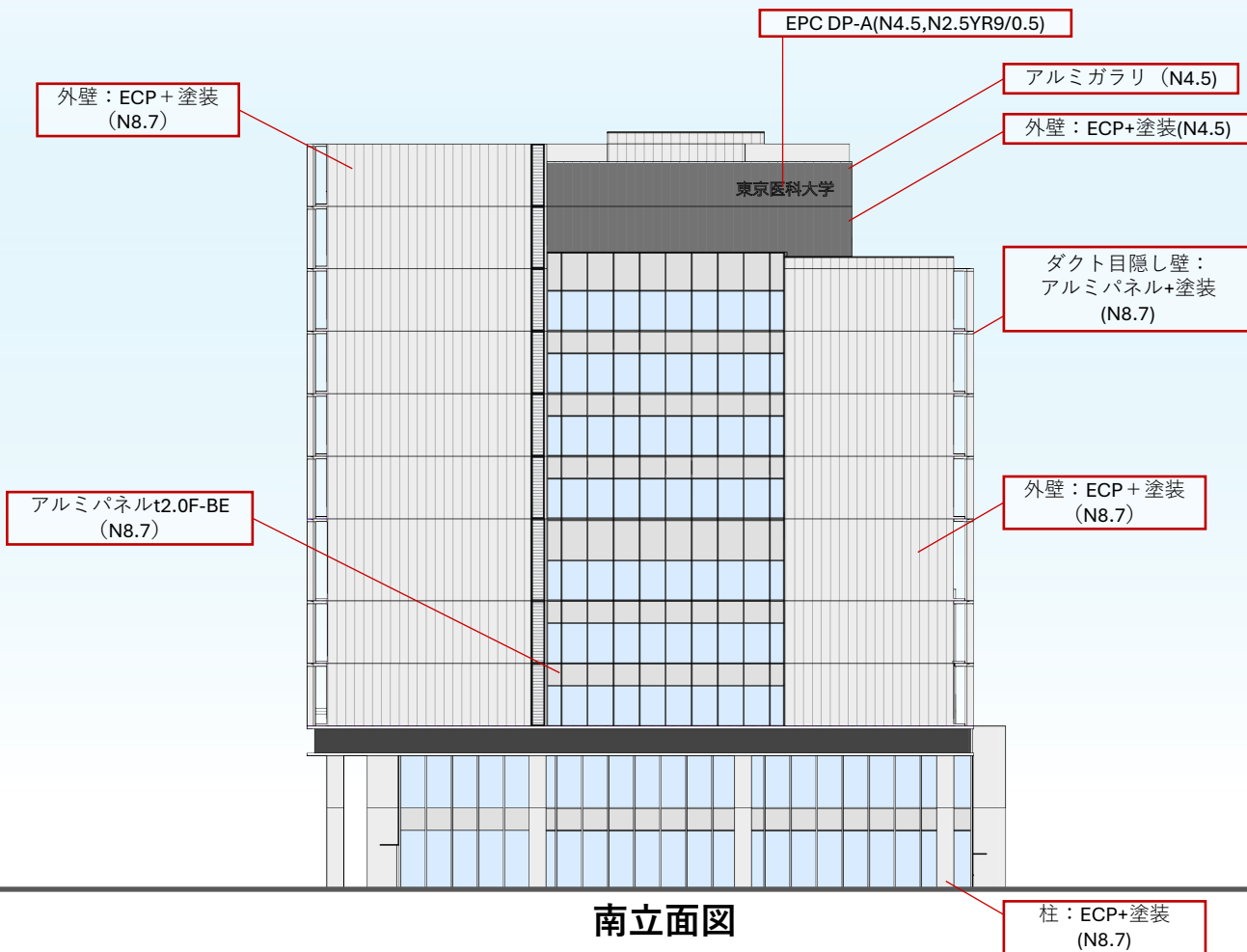
備考

PC：プレキャストコンクリート

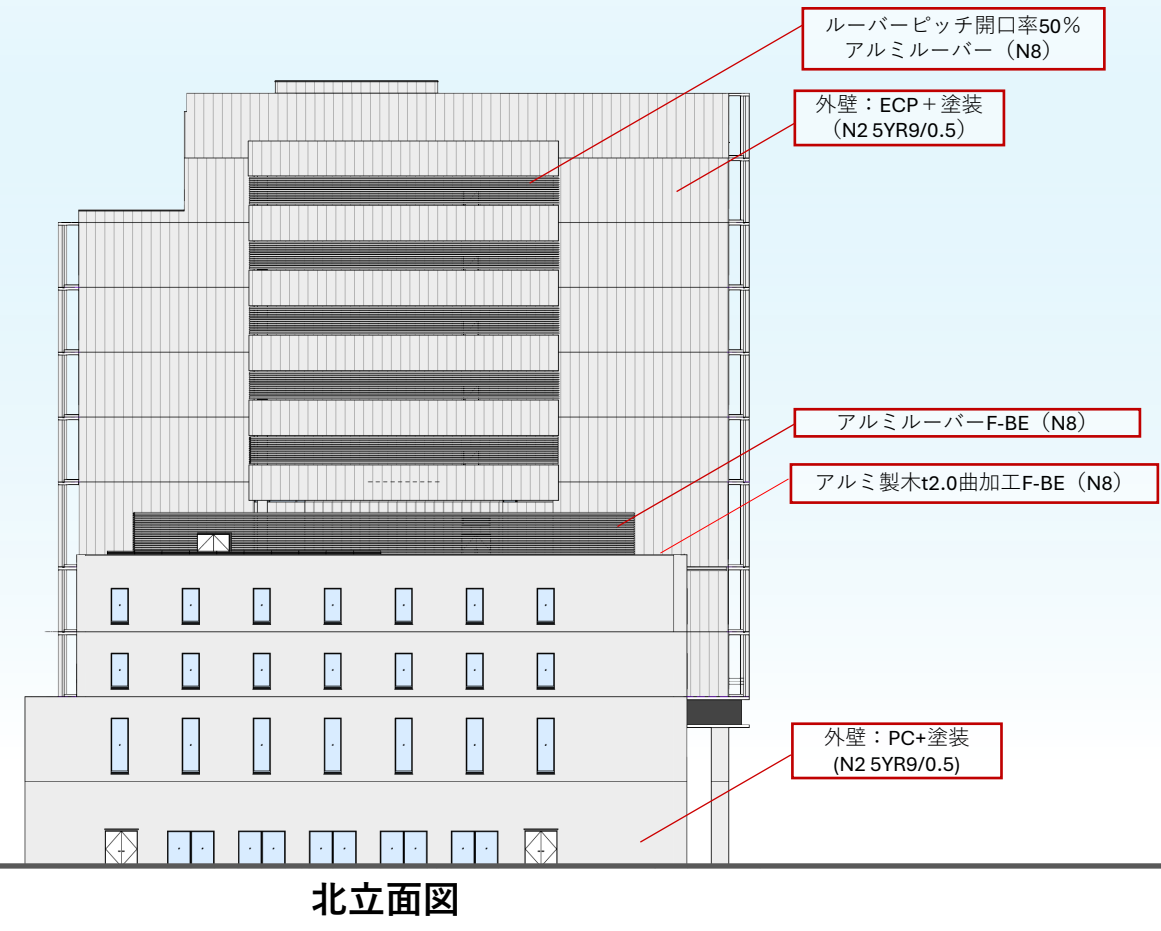
ECP:押出形成セメント板

DP-A：フッ素樹脂塗装（コンクリート面及びECP面）

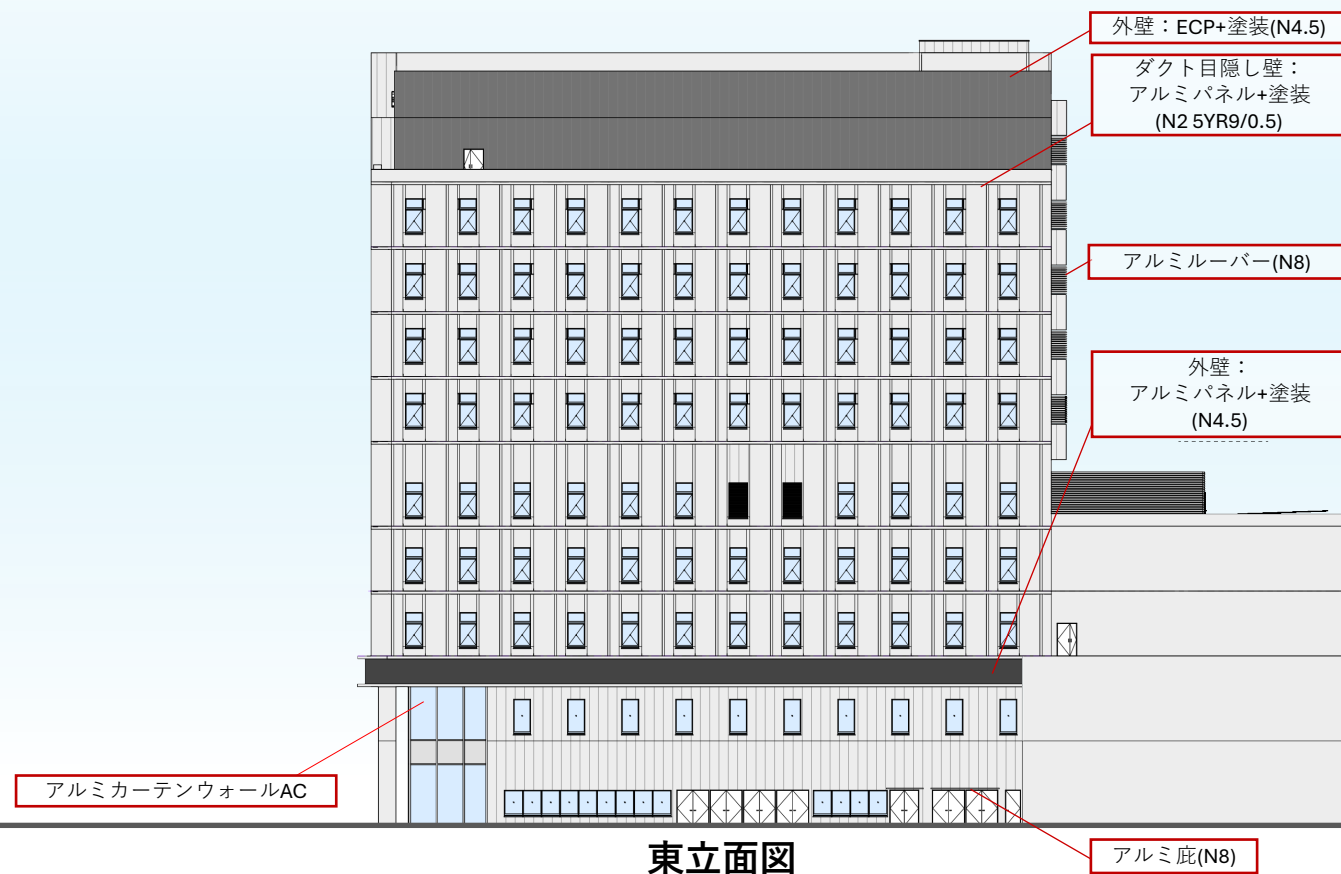
F-BE：フッ素樹脂エナメル焼付塗装



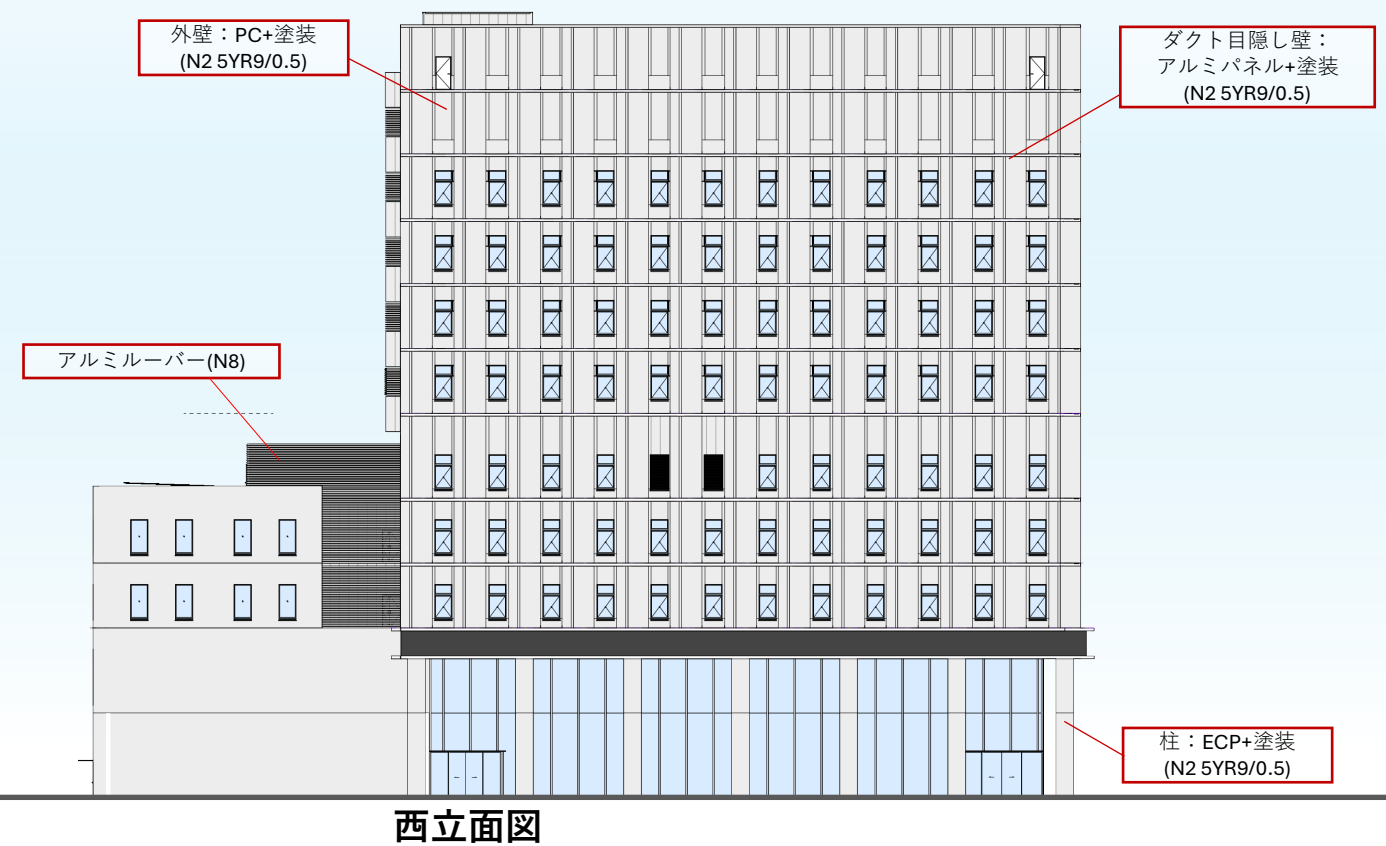
南立面図



北立面図



東立面図



西立面図

■ 外観コンセプト

外観

南側の各階にコミュニティラウンジを設けます。学生や研究者たちの活動する様子が見える事で、医大通り側への賑わいを創出します。

南北を貫通するキャンパスストリートに沿って、1・2階はガラスを使用した開放的なデザインとします。

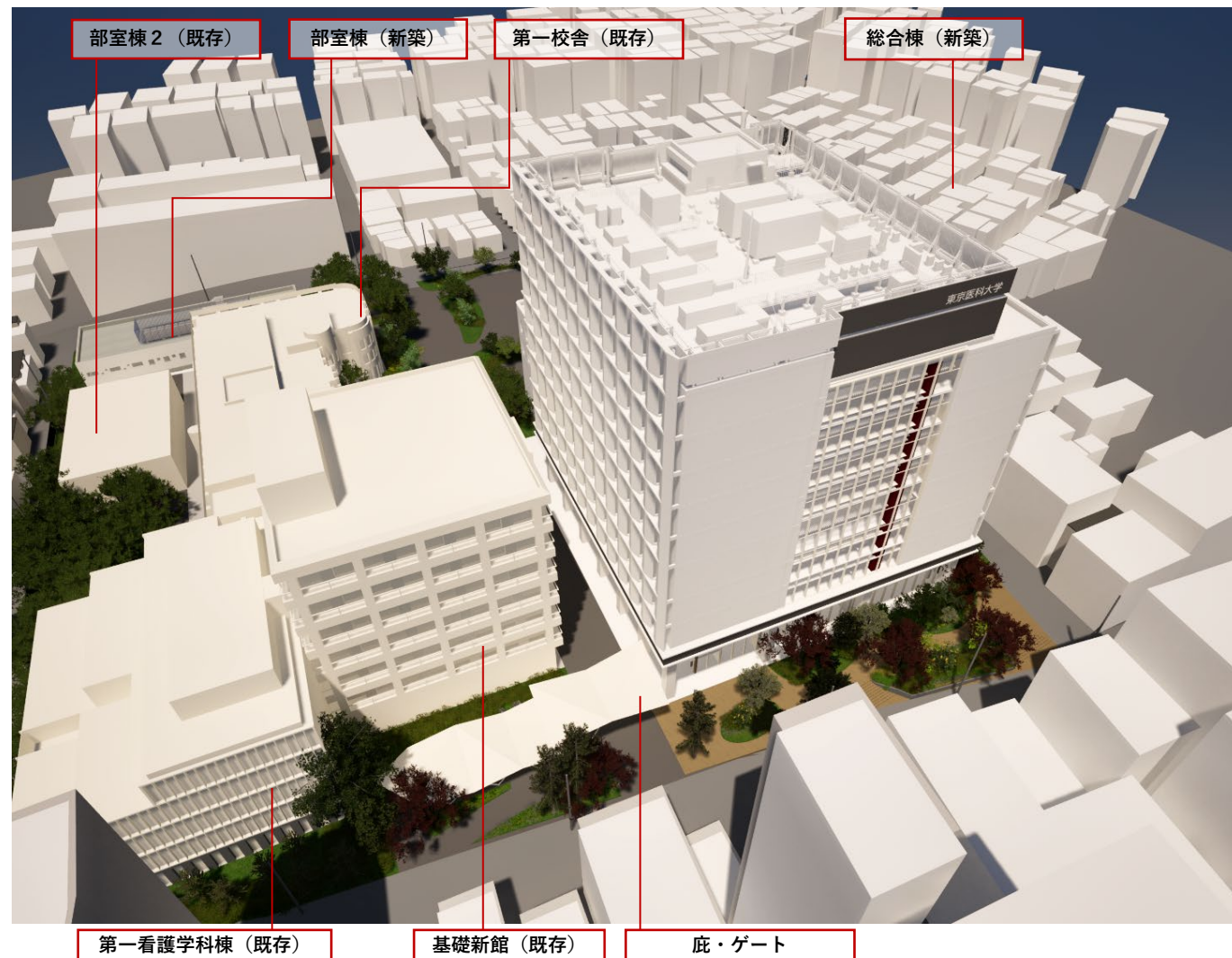
研究所用途のため、壁面には設備ダクトが展開されるが、設備ダクトは目隠し壁で隠しています。住宅街の中にあっても、違和感がないように調和を図っていきます。

色彩

敷地内には残る第一校舎等、既存建物、西新宿にある病院のイメージと合わせた、白をベースとした色彩とします。医大通り側の壁面の白は、町並みに馴染むよう、やや明度を落とす配慮をします。

歴史と伝統

複数の既存建物とのまとまりを持たせ、歩行者を迎えるゲートを計画しています。形状は検討中です。地域の皆様から親しまれた既存の校門を保存し、このゲート部分に移設するなど、歴史と伝統を残しつつも、新しいデザインが融合したイメージを持たせます。



■ サイン計画と照明計画

サイン計画

大学名称を規定サイズの範囲で設置します。

照明計画

各階統一された色 温度の光を想定しています。

また、イベント時を限定して照明により、東京医科大学のスクールカラーである赤が見えてくるような仕掛けも検討中です。

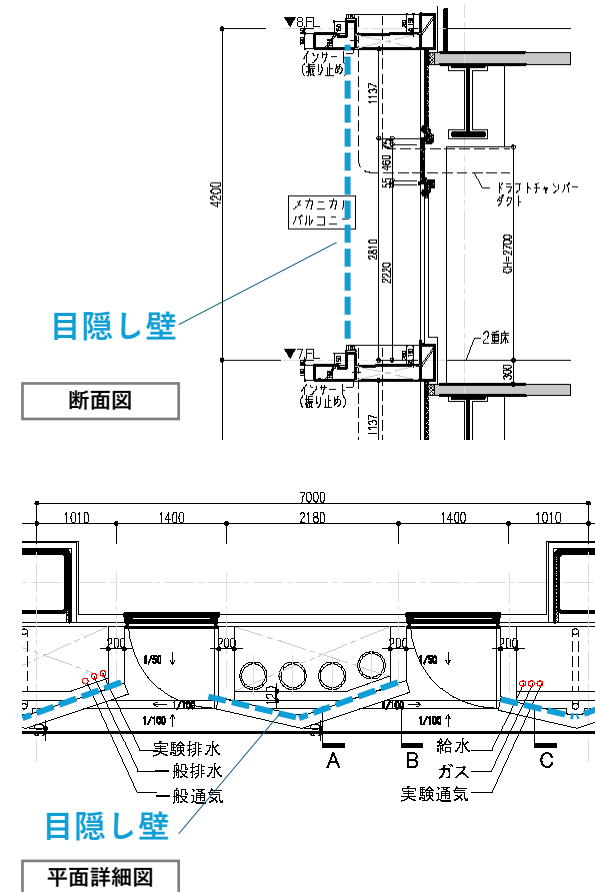
〈常時〉日中イメージ



夜間イメージ



〈イベント時のみ〉夜間イメージ



設備ダクトは目隠し壁で隠し、住宅街の中にあっても、違和感が無いように調和を図っていく。

■ 近景イメージ

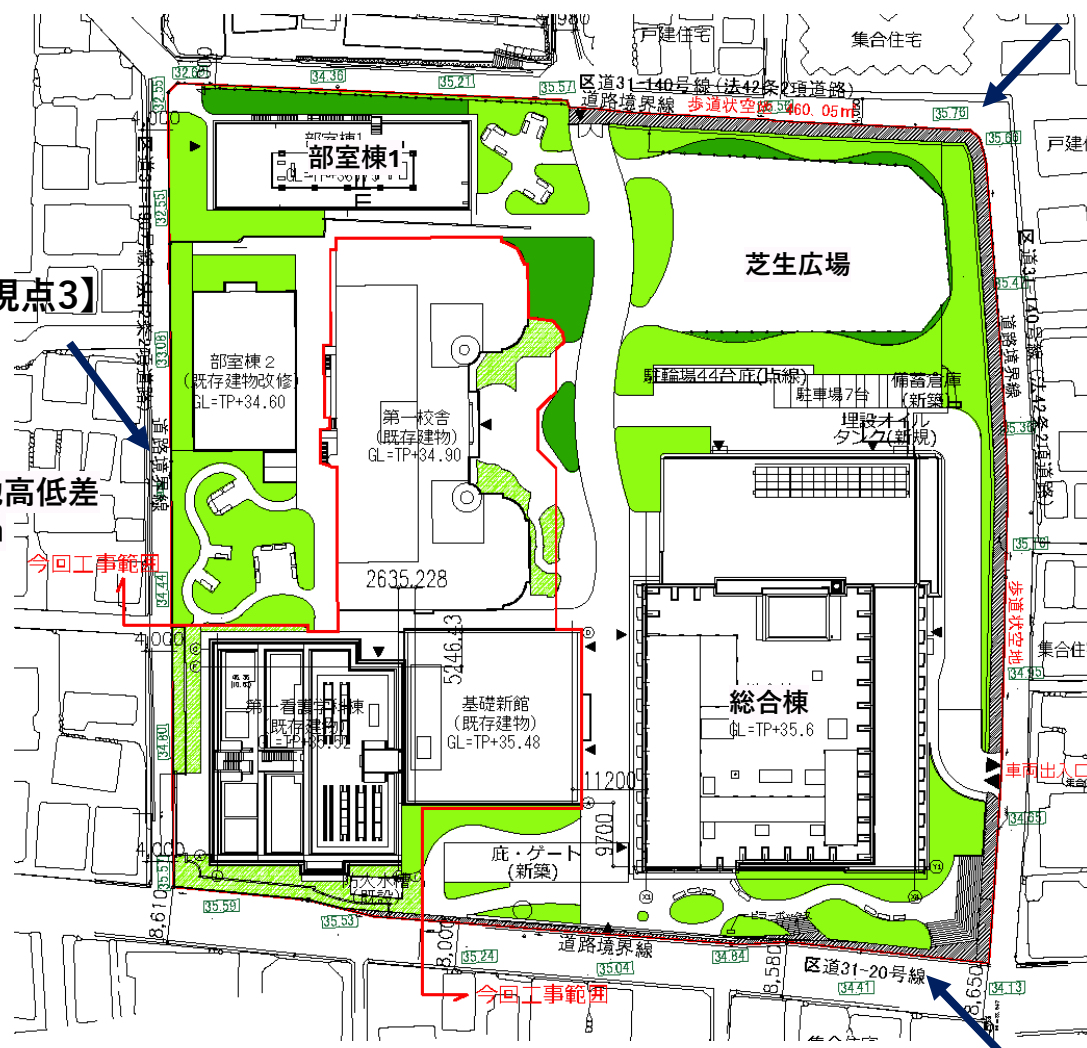
敷地高低差
ほぼ無し

敷地高低差
ほぼ無し

【視点2】

【視点3】

敷地高低差
+2m



【視点1】

敷地高低差+1.3m

【視点1】 高低差1.3mを階段と植栽でオープンにつくる。現状は電柱があり歩道がないが、敷地境界から2mセットバックし安全な歩道を整備する。



【視点2】 敷地境界から2mセットバックし歩道状に整備する。塀を解体し、明るく開けた空間とする。芝生広場（ミニグラウンド）に対して視線を遮らないフェンス（高さ3m程度、アルミ色を想定）を設置。周辺敷地から第一校舎が見える。



(現状)

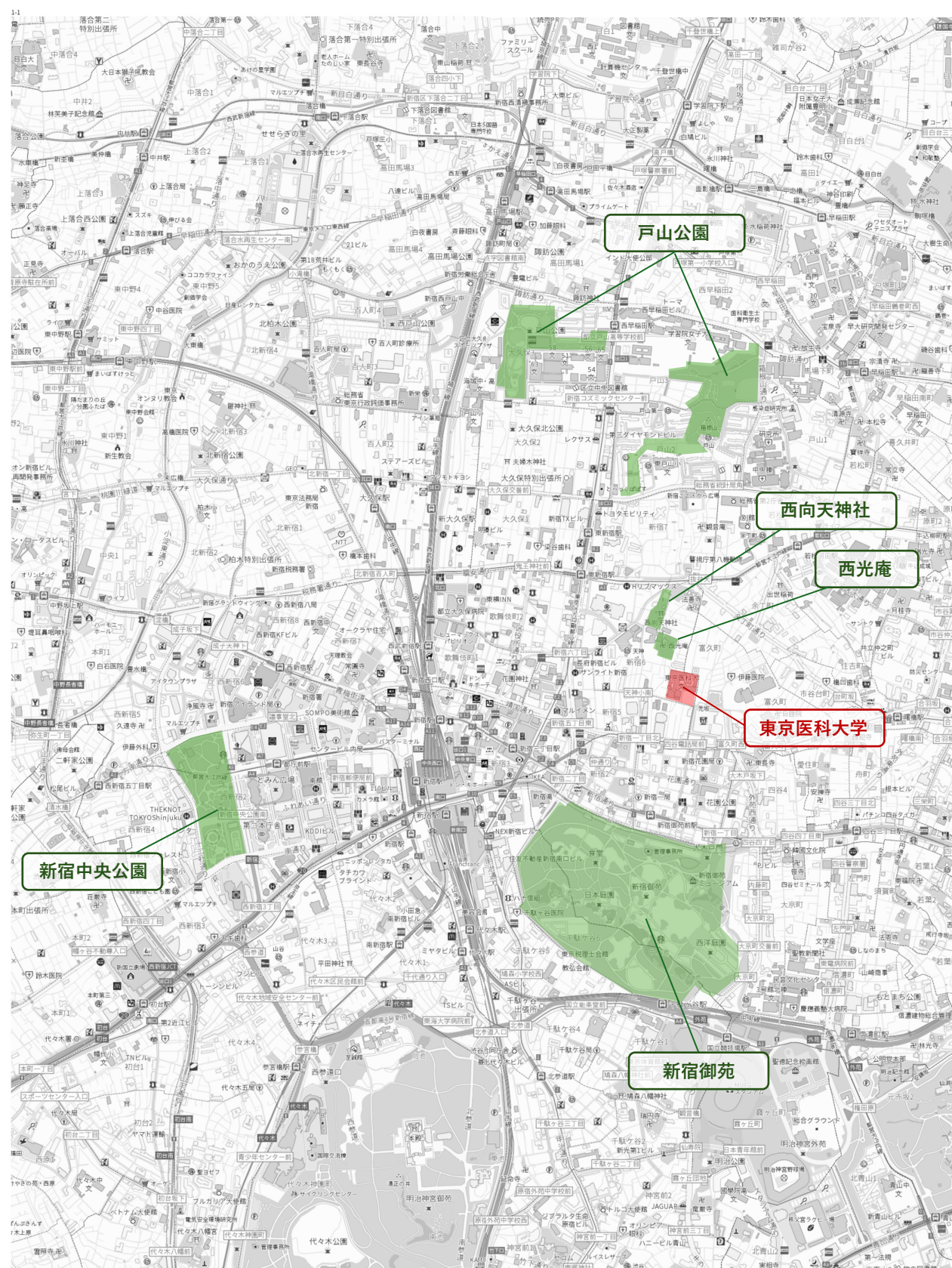


【視点3】 高低差2mの壁を高圧洗浄等により、汚れを目立たせないように検討。フェンス越しに明るい緑地が見える。

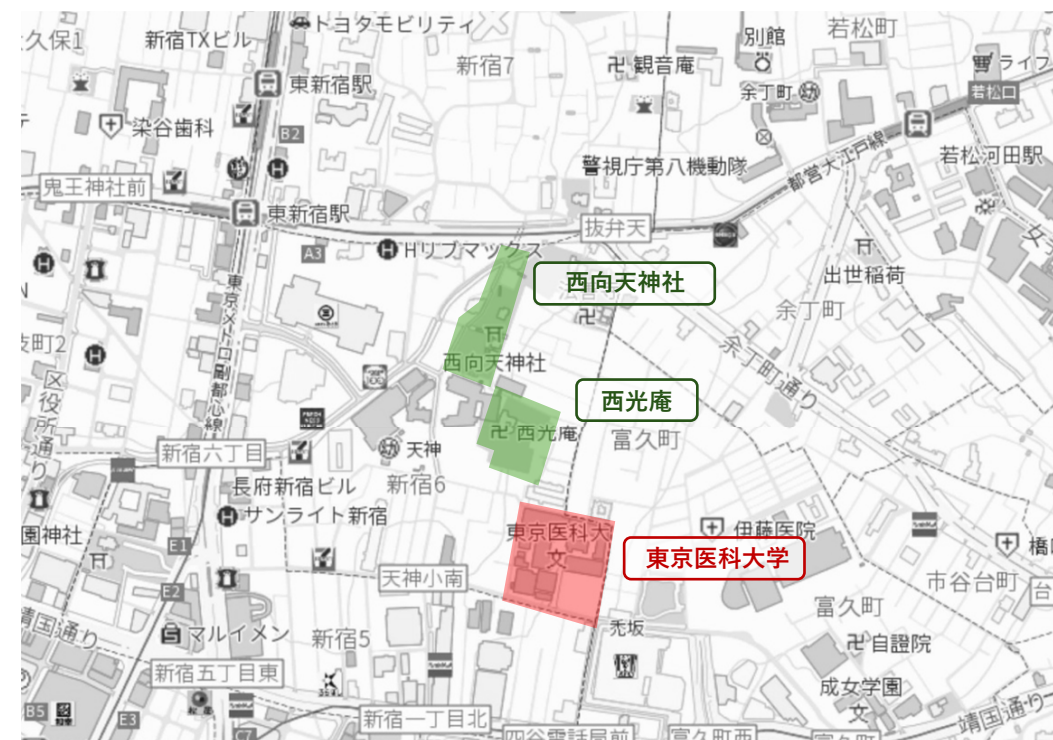


(現状)





広域地図（対象地周辺）



中域地図（対象地周辺）

〈敷地周辺の現状〉

- 新宿御苑・戸山公園・新宿中央公園など、周辺にまとまりある緑が点在
- 西向天神社・西光庵など、寺社の緑が地域の基調を形成

〈計画方針〉

- 周辺緑地との連続性を意識し、地域の緑のネットワークの一部として機能
- 西向天神社にみられる常緑広葉樹林（カシ類中心）を踏襲

▶▶ シラカシ等のカシ類を骨格とした植栽とすることで
周辺景観との調和＋緑の連続性の確保を図る

部室棟1
(新築)
GL=TP+33.75

部室棟2
(既存建物改修)
GL=TP+34.60

第一校舎
(既存建物)
GL=TP+34.90

第一看護学科棟
(既存建物)
GL=TP+35.12

基礎新館
(既存建物)
GL=TP+35.48

庇・ゲート

防火水槽
(既存)

駐車場44台 庇(点線)

駐車場7台

開設オイル
タンク(新規)

空地(人口芝)

区道31-140号線
(法42条2項道路)

区道31-140号線
(法42条2項道路)

区道31-140号線
(法42条1項1号道路)

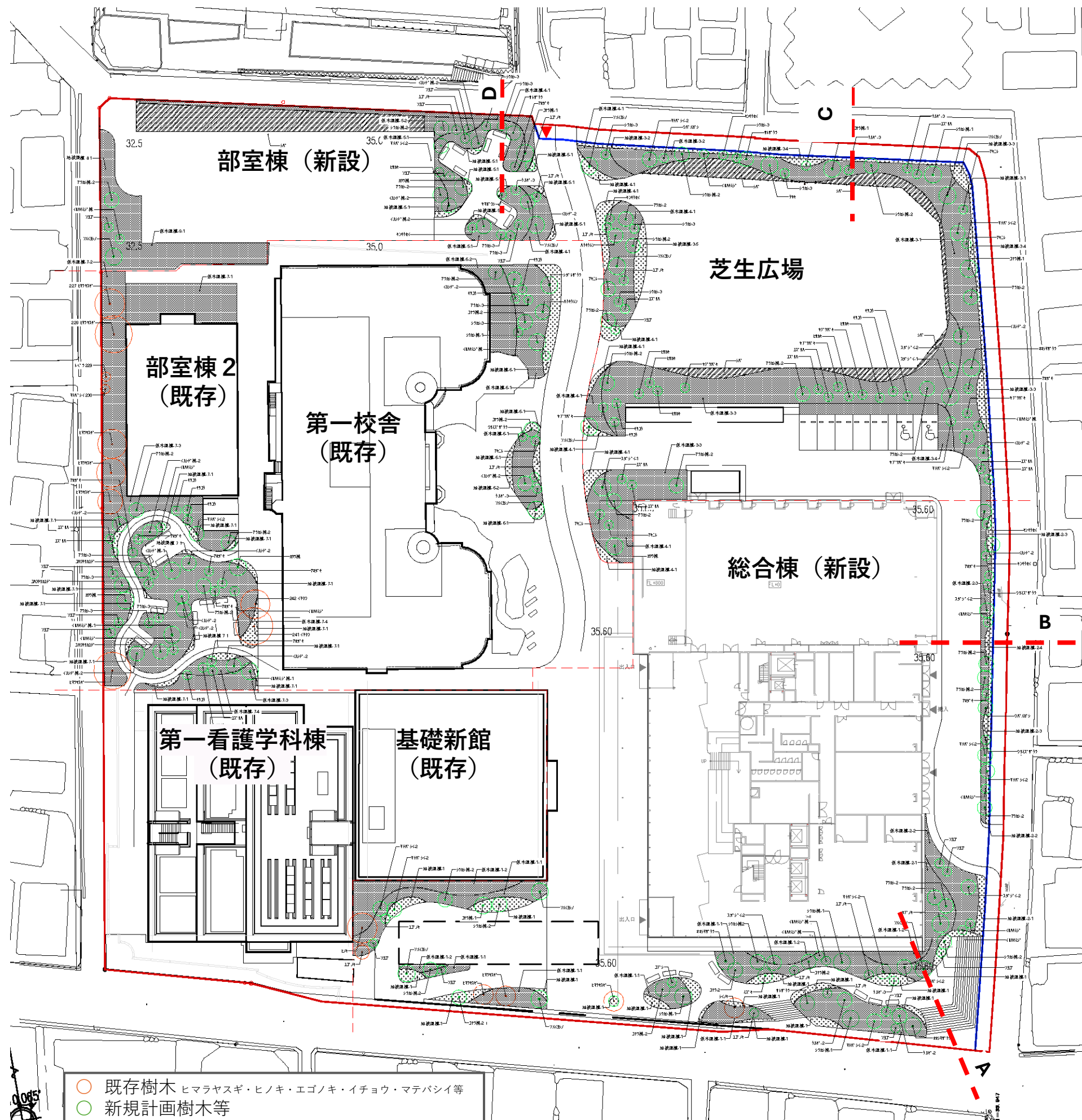
今回工事範囲

今回工事範囲

歴史ある建築の全面に位置し、既存の植栽も保存されることから
既存植物との連続性を意識した植栽を選定する。

■ ランドスケープの考え方

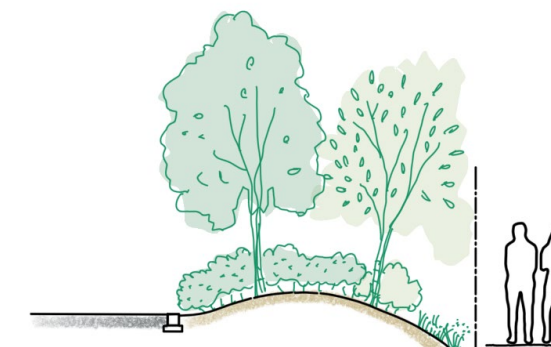
■ 植栽平面図



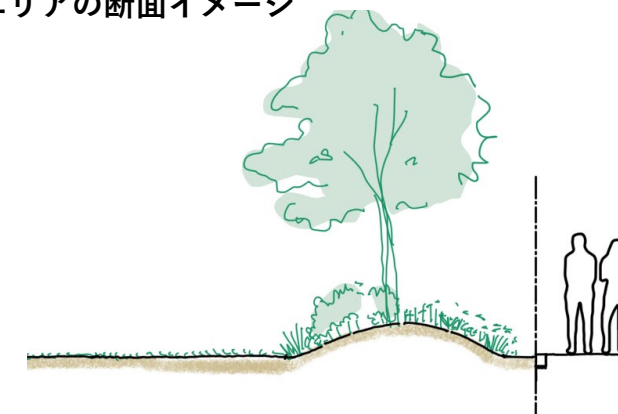
A：南側エントランスエリアの断面イメージ



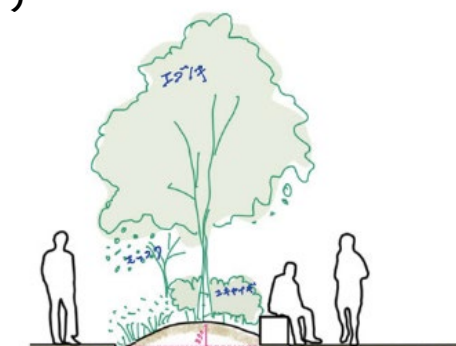
B：東側歩道沿いエリアの断面イメージ



C：空地北側エリアの断面イメージ



D：部室棟東側・南側エリア



■ ランドスケープの考え方

A					
高木		低木			
	規格(m)	(本)			
アラカシ	2.5~4	2	低木混植-1-1	196.74	樹種
イロハモミジ	2.5~6	4			ノリウツギ
エゴノキ	2.5	3			ムラサキシキブ
オオシマザクラ	8	1			シモツケ
					マホニアコンフューサ
クメギ	3~3.5	3	低木混植-1-2		ヤマブキ
コナラ	3.5~6	2		168.66	アオキ
コブシ	2.5	1			ツツジ
サトザクラ	3.5	1			アベリア
シラカシ	4~6	5	低木混植-2-1		
スダジイ	3.5~8	1			ヤツデ
ソメイヨシノ	8	3			ミツマタ
ソヨゴ	2.5	1		52.38	アオキ
タブノキ	8	1			シャリンバイ
マテバシイ	4	1			ノリウツギ
ミズキ	4	1			ヤマブキ

地被					
	面積	樹種	規格	1㎡あたりのpot数	pot
地被混植-1	204.96	ヤブコウジ	9.0 cm pot	エリア面積の25%、64pot/m2	3,279
		キチジョウソウ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、49pot/m2	2,009
		ツツブキ	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	769
		ヒメシャガ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	512
		クリスマスローズ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	512
地被混植-2-1	9.18	テイカカズラ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	512
				60pot/m2	551

D-1					
高木		低木			
	規格(m)	(本)			
アオダモ	2.5	1	低木混植-4-1	64.31	ムラサキシキブ
アラカシ	2.5~4	6			コマユミ
イヌシデ	3.5~6	5			ヤマブキ
イロハモミジ	2.5~6	2			アジサイ
エゴノキ	2.5	3			ヤマツツジ
カヅラ	8	1			マホニアコンフューサ
キンモクセイ	3	1			フィリアオキ
クズギ	3~3.5	1			ジンチョウゲ
コナラ	3.5~6	2			コマユミ
サトザクラ	3.5	1			ミツマタ
シダレザクラ	6	1	低木混植-5-1	32.16	ムラサキシキブ
シラカシ	4~6	3			ジンチョウゲ
ソメイヨシノ	8	2			ユキヤナギ
ソヨゴ	2.5	4			マホニアコンフューサ
ハクモクレン	2.5	1			シルバープリベツ
ヒサカキ	2	1			シモツケ
マテバシイ	4	1		64.31	アオキ
ヤマボウシ	2	1			シャリンバイ
					マホニアコンフューサ
					ツツジ
地被混植-5-2			低木混植-6-2	47.97	アオキ
					シャリンバイ
					マホニアコンフューサ
					ツツジ

地被					
	面積	樹種	規格	1㎡あたりのpot数	pot
地被混植-5-1	12.69	フックソウ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、64pot/m2	162
		キチジョウソウ	9.0 cm pot	エリア面積の30%、49pot/m2	187
		ベニシダ	10.5 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	48
		ギボウシ	10.5 cm pot	エリア面積の20%、25pot/m2	63
地被混植-6-1	70.92	ヒメシャガ	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	48
		ヤブコウジ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、64pot/m2	908
		キチジョウソウ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、49pot/m2	695
		ツツブキ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	177
		ヒメシャガ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	177
		クリスマスローズ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	177
		フィリギボウシ	10.5 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	177
		シャガ (常)	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	266
シバ	126.46	コウライシバ	10.5 cm pot	エリア面積の5%、25pot/m2	89
					126

B					
高木		低木			
	規格(m)	(本)			
アオダモ	2.5	3	低木混植-2-3	42.35	フィリアオキ
アキニレ	3	2			アジサイ
アラカシ	2.5~4	2			コデマリ
イヌシデ	3.5~6	2			ヤツデ
イロハモミジ	2.5~6	3	低木混植-3-1	42.35	ユキヤナギ
ウバメガシ	3	1			フィリアオキ
ウワミズザクラ	3	2			アジサイ
オオシマザクラ	8	1			コデマリ
キンモクセイ	3	2	低木混植-3-4	42.35	ヤツデ
コナラ	3.5~6	1			ユキヤナギ
シラカシ	4~6	1			アオキ
スダジイ	3.5~8	2			ヒサカキ
ソメイヨシノ	8	1			シャリンバイ
マテバシイ	4	2			アベリア
ヤブツバキ	2	2			

地被					
	面積	樹種	規格	1㎡あたりのpot数	pot
地被混植-2-2	22.74	アガパンサス	10.5 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	57
		フィリツツブキ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、25pot/m2	114
		シャガ (常)	9.0 cm pot	エリア面積の25%、25pot/m2	142
		フィリハラン	10.5 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	57
		ベニシダ	10.5 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	85
地被-2-3	5.68	フックソウ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、64pot/m2	291
		シラン	10.5 cm pot	25pot/m2	142
地被-2-4	2.16	ヘメロカリス	9.0 cm pot	25pot/m2	54
地被混植-3-1	22.97	アガパンサス	10.5 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	57
		フィリツツブキ	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	86
		シャガ (常)	9.0 cm pot	エリア面積の25%、25pot/m2	144
		フィリハラン	10.5 cm pot	エリア面積の20%、25pot/m2	115
		ベニシダ	10.5 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	86
地被-3-3	78.76	フックソウ	9.0 cm pot	エリア面積の15%、64pot/m2	221
地被-3-4	39.38	シラン	10.5 cm pot	25pot/m2	1,969
		ヘメロカリス	9.0 cm pot	25pot/m2	985
地被混植-3-2	18.57	ヤブコウジ	9.0 cm pot	エリア面積の25%、64pot/m2	297
		キチジョウソウ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、49pot/m2	182
		ツツブキ	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	70
		ヒメシャガ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、25pot/m2	93
		クリスマスローズ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	46
		フィリギボウシ	10.5 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	46

D-2					
高木		低木			
	規格(m)	(本)			
アオダモ	2.5	4	低木混植-7-3	170.56	アベリア
アラカシ	2.5~4	5			シャリンバイ
イヌシデ	3.5~6	8			マホニアコンフューサ
イロハモミジ	2.5~6	5			ツツジ
コナラ	8	2	低木混植-7-4	170.56	コマユミ
コハウチワカデ	4	3			ミツマタ
ソヨゴ	2.5	2			ムラサキシキブ
マテバシイ	4	1			ジンチョウゲ
モッコク	2.5	5			ユキヤナギ
(既存)					マホニアコンフューサ
ヒマラヤスギ	6				シルバープリベツ
トベラ	1				シモツケ
マレバシイ	1		低木混植-8-1	15.67	アベリア
イチョウ	2				シャリンバイ
					マホニアコンフューサ
					ツツジ

地被					
	面積	樹種	規格	1㎡あたりのpot数	pot
地被混植-7-1	112.09	フックソウ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、64pot/m2	1,435
		キチジョウソウ	9.0 cm pot	エリア面積の30%、49pot/m2	1,648
		ベニシダ	10.5 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	420
		ギボウシ	10.5 cm pot	エリア面積の20%、25pot/m2	560
地被混植-8-1	13.54	ヒメシャガ	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	420
		フックソウ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、64pot/m2	173
		キチジョウソウ	9.0 cm pot	エリア面積の30%、49pot/m2	199
		ベニシダ	10.5 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	51
		ギボウシ	10.5 cm pot	エリア面積の20%、25pot/m2	68
		ヒメシャガ	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	51

C					
高木		低木			
	規格(m)	(本)			
アキニレ	3	3	低木混植-3-1	31.99	フィリアオキ
アラカシ	2.5~4	6			アジサイ
イヌシデ	3.5~6	1			コデマリ
イロハモミジ	2.5~6	1			ヤツデ
エゴノキ	2.5	3	低木混植-3-2	31.99	ユキヤナギ
カヅラ	8	1			ノリウツギ
キンモクセイ	3	2			ムラサキシキブ
クズギ	3~3.5	2			ナンテン
ケヤキ	6	1	低木混植-3-3		マホニアコンフューサ
コナラ	3.5~6	1			シャリンバイ
サトザクラ	3.5	1		59.86	アオキ
シラカシ	4~6	8			サザンカ
スダジイ	3.5~8	1	低木混植-4-1		ヒメシャガ
ソメイヨシノ	8	4			シャリンバイ
ハクモクレン	2.5	1			アベリア
ヒサカキ	2	4			ヤツデ
マテバシイ	4	1	低木混植-4-1	91.84	ムラサキシキブ
モッコク	2.5	3			コマユミ
ヤブツバキ	2	4			ヤマブキ
ユズリハ	3	4			アジサイ
					ツツブキ
					ヤマツツジ
					マホニアコンフューサ
					フィリアオキ
					ジンチョウゲ

地被					
	面積	樹種	規格	1㎡あたりのpot数	pot
地被混植-3-2	9.29	ヤブコウジ	9.0 cm pot	エリア面積の25%、64pot/m2	149
		キチジョウソウ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、49pot/m2	91
		ツツブキ	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	35
		ヒメシャガ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、25pot/m2	46
		クリスマスローズ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	23
地被-3-3	84.88	フィリギボウシ	10.5 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	23
地被-3-4	42.44	シラン	10.5 cm pot	25pot/m2	2,122
		ヘメロカリス	9.0 cm pot	25pot/m2	1,061
地被混植-4-1	310.37	ヤブコウジ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、64pot/m2	3,973
		キチジョウソウ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、49pot/m2	3,042
		ツツブキ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	776
		ヒメシャガ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	776
		クリスマスローズ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	776
		フィリギボウシ	10.5 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	776
		クリスマスローズ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	776
		シャガ (常)	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	1,164
		フィリハラン	10.5 cm pot	エリア面積の5%、25pot/m2	388
		ヤブコウジ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、64pot/m2	129
地被混植-6-1	10.06	キチジョウソウ	9.0 cm pot	エリア面積の20%、49pot/m2	99
		ツツブキ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	25
		ヒメシャガ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	25
		クリスマスローズ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	25
		フィリギボウシ	9.0 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	25
地被混植-6-2	4.73	シャガ (常)	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	38
		フィリハラン	10.5 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	13
		アガパンサス	10.5 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	12
		フィリツツブキ	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	18
		ヒメシャガ	9.0 cm pot	エリア面積の15%、25pot/m2	18
		フィリハラン	10.5 cm pot	エリア面積の10%、25pot/m2	12
		フィリキチジョウソウ	9.0 cm pot	エリア面積の25%、25pot/m2	30
シバ	144.41	フックソウ	9.0 cm pot	エリア面積の25%、64pot/m2	76
		コウライシバ			144

既存

高木

南

第一校舎前

西

低木

第一校舎前

第一校舎前

樹種	規格(m)
ヒノキ	10
カキ	4
ネズミモチ	2
ムクノキ	3
ヒマラヤスギ	13
ビワ	1.7
ツバキ	1.7
ヤツデ	1.2
サクラモドキ	2.4
サクラ	9.5
モチノキ	6
ヒノキ	6.7
センダン	7
アラカシ	2.7
ソヨゴ	2.8
ソヨゴ	3.3
ソヨゴ	2.6
シャラノキ	2.7
スジダイ	9
ヒノキ	10
エゴノキ	4.5
ヒマラヤスギ	13
ヒマラヤスギ	15
ヒマラヤスギ	12
シイノキ	8

樹種	規格(m)
サクラ	4.3
イチョウ	9.5
モミジ	3.4
スジダイ	9
モチノキ	5.5
モチノキ	1.6
ユリノキ	6.7
サンゴジュ	4.4
サンゴジュ	4.4
コウヤマキ	7.5
コウヤマキ	8.5
ウバメガシ	4
シュロ	6.5
ウバメガシ	4
ウバメガシ	3.8
ネズミモチ	7.5
ゲッケイジュ	5
ヤマモモ	6.5
ツバキ	1.8
ゲッケイジュ	4.5
ゲッケイジュ	4.5
ツバキ	2.4
トウネズミモチ	8
カヤ	4.1
サカキ	2.7
カヤ	4
カヤ	4
ツバキ	4
カヤ	8
ツバキ	2.2
ヤツデ	2

樹種	規格(m)
ヒマラヤスギ	10
ヒマラヤスギ	10
トベウ	1.7
マデバシイ	2.6
ヒマラヤスギ	9
ヒマラヤスギ	9
ヒマラヤスギ	9
ヒマラヤスギ	9
ヒバ	9
ヒバ	9

樹種
ツバキ
アベリア
ドウダンツツジ
ハラン
アセビ
ヤマブキ
カンツバキ
ユキヤナギ
センリョウ
サツキ
シャリンバイ
オオムラサキツツジ
アジサイ

樹種
ツゲ
ヤツデ